

奥会津だより

第45号

2008年新春

今も暮らしに生きる道具をシリーズで紹介しします。-No.10 香箱-

香箱

先祖に捧げる香を焚くのはこの家でも毎朝の大切な行事である。

南会津町南郷の月田禮次郎氏は、昔ながらに「香の木(カツラ樹のオス木)」の葉を乾燥させたものを用いて、丹念に香を盛り、ホクチダケ(シロカイメンダケ)を乾燥させたかけらで火種を作る。6月の暑い日の朝に採った葉を一日で乾かして臼で搗いて粉にしたものが香となる。香の木の葉の代わりにキササゲの葉を使う場合もあるが、これは一日では乾かないという。

長い時間焚き続けられるように、香の道を作る中蓋も組み込まれている香箱は、今も、一日も欠かさず当主が扱う重要な先祖供養の道具である。

ゆきだるまにじんじんつけてたべちやった

目黒 大成くん(只見小)



なつかしい風景

◆今に続く暮らし

写真・説明 竹島善一

昭和40年代後半より現在まで、奥会津各地の暮らしを写真で記録している。(東京在住)



(三島町・昭和52年1月)

朝を待ちかねるように屋根の雪を下ろす。その雪を踏みしめながら牛乳を村中の大通りまで背負い出す。雪も牛の乳も人の思惑に関係なく、この時期にこの地で生きる人々にやるべき事を強いてくる。



(三島町・昭和56年1月)

雪も寒さも子ども等の活気にはかなわない。掘り出した雪穴が自分たちの世界。何であろうと遊べるのが子どもたちの創造力のたくましいところである。この当時は雪もたくさん降ったが、町村には子どもが大勢いて元気に雪の中で遊んでいた。

一晩で一尺二尺と積もる豪雪地では、雪はまさに魔物である。寒い土地へは厳冬に訪ねてこそ、その地の真の姿を見ることができると、東北の冬を旅先に決めて会津へたどり着いた。その会津の冬で降りしきり、積もり積もった雪は私を圧倒するものであった。

鉄道は必死でダイヤを確保し、国道は何とか除雪して、かろうじて路線バスの足を保つというものであった。村中の通りはうず高い雪の山で、人の歩いた踏み跡が住民の道のしるしである。人々は春まで雪の上を歩いていた。隣家への行き来も大変であったと聞いていたが、雪道の難儀は想像に余りある。

雪に閉じ込められて、春まで雪浸けになった車を見た。人の住むところ全ての道路から雪を排除してしまうようになつたのは、最近のことである。雪から家を守り、生活の交通を確保するためのやりきれない労苦は、行政にとっても各家にとっても、この地の宿命である。

奥会津

つれづれ

新しい年を迎えた。年齢を重ねるごとに時の流れを早く感じる。昨年、も慌しく過ぎていってしまった。

子供の頃の年末は29日に大掃除、30日に餅をつく。大晦日は午後早々にお風呂に入り、晴れ着を着て、家族揃って神棚に向かい「今年も無事一年を過ごすことができました。」とご挨拶をする。その後はご馳走を食べ、家族団欒の時を過ごす。そして、年越し蕎麦を食べ、テレビからの除夜の鐘を頭のどこかで聞きながら、眠りにおちる。

思い出してみてもふと思つたのが、何故、大晦日に晴れ着だったのか。母に聞いてみると、「そういう習慣だったから」との答え。母の子供の頃(昭和二十年代)も同じように大晦日を過ごしていたのだという。ただ、二十数年の時代の隔たりはある。その頃は、大晦日だけは夜更かしをしても良い日で、子供たちで近所の家を訪ねあい、いろはかるたや双六、八ガキパッタなどの遊びをしたそうである。

そして、元旦はお雑煮程度でおせち料理などはなかったとのこと。

今は、おせち料理も作るが、年末年始の流れは変わらない。親元を離れていた時には、テレビで観るような年末・年始を過ごしていたが、改めてこの土地の習慣を大切にしていきたいと思った。

外を眺めれば、雪景色。私にとっては何十回目かの松も明け、これから奥会津は一層厳しい冬となる。(み)

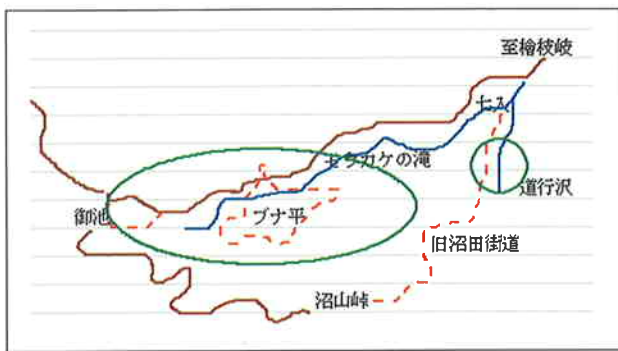
尾瀬のブナ平は尾瀬の燧岳が爆発したときに流れ出た溶岩の平坦な台地で、この台地一面にブナ林が広がっている。ブナ平一帯は車道脇からブナ林となつていたので、車道からでもブナ林を眺めることは出来る。しかしブナ平の神髄を見るためにはブナ平の中に入り込むことだ。しかしブナ林内には道は付けられていないし、車道とブナ平の間にはモーカケ沢が流れている。そのためブナ平を訪れることが出来るのは残雪期のみだ。幸い5月の連休の頃にはこ

のモーカケ沢の至る所にスノーブリッジがかかっている。濡れることなくブナ平の中に入り込める。しかもブナ林内の林床の藪は雪の下なので、高木であるブナのみが適度の間隔を開けて林立している。そのため残雪期のブナ平はクロスカントリースキーのフィールドにもなっている。ブナ平のブナの特徴は灰色がかつた白い肌をした幹周りが1〜2mの壮年期のブナ達が林立していることだ。中には4・5mというブナ巨木もあるが、老木は少ない。ここは

気象条件が相当厳しいらしく、小さな樹は幹を雪にへし曲げられて、まともな姿の若木は少ない。樹勢が衰えた老木も強風で倒れたのであろう。



残雪期の尾瀬ブナ平



◆著者プロフィール
1942年生まれ。ブナをライフワークテーマとする。日本全国約500ヶ所のブナ林を訪ね歩いてきた。「ブナの山旅」(山と溪谷社)を出版。会社生活を卒業後は、ブナライフに徹するために生活拠点を会津若松市に移し、奥会津や東北各地のブナ林巡りを続けている。



手遊びの唄は、とりわけ女の子の子の中でいねいに伝承されてきた。手鞠やお手玉などの素朴な遊具は、いつも唄を纏っていた。

ザック(お手玉) かぞえうた

ひとつ ガンガラビ

ふたつ フクジュの木

みつつ ミカンの木

よつつ ヨエ桜

いっつ イチヨウの葉

むつつ ムクレン(モクレン)の木

ななつ ナンテンジ

やつつ ヤエ桜

ここのつ コウメの木

とおで トッテンガラ

ヤマチンガラ

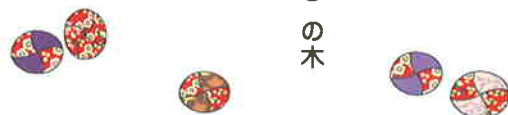
コッチンガラ

腰にひと巻き

十三七つ

しよいと イッコン 勝ちました

伝承者・檜枝岐村 平野久仁江(73歳)



方言クイズ

クイズに答えて奥会津の
地場産品を買おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう？

「まにやせる」

ヒント：これで充分…

正解者の中から抽選で1名様に、三島町の地場産品をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511
福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979
奥会津書房 宛

●応募締切：2008年1月31日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

※クイズの答えは次号46号で発表いたします。

◎44号「でえご」の答え：ダイコン たくさんのご応募
ありがとうございました!

●表紙写真「香箱」の材料について●

左上 香箱 右上 キササゲの葉
左下 粉末にして保存されている香
右下 乾燥したホクチダケ



香の粉末は香箱の下段に入れて保存している。
(写真提供/取材：菅家博昭氏)

国に暮らす特権ですね。そして子供み
たいにはしゃいで作る雪だるま!今年
も初雪で作りましたよ。寒い寒い家
の中にももっている体にも悪いし、
それに光熱費もかさんで財布にも悪い
し(苦笑)なので、この冬も「雪国で
暮らす&遊ぶ」を楽しみたいと思っ
ています!



雪だるま



景色
風景は雪
雪だるま

地元記者の

目

さあ、冬の季節が
やってまいりました!



奥会津だより地元記者
南会津町館岩地区
堤かほり

静岡生まれぬくぬく育ちの私
にとって、寒い南会津館岩の冬
をどう楽しく過ごすかが最大の
課題。折しも、近所のたかつ
えスキー場がオープンしたばか
り。たくさんの方々がスキー、ポ
ーダーの方がグレンデを訪れ
連日賑わっています。仕事柄ス
キー場に写真を撮りに行くこと
が多い私。その写真撮りは大き
な楽しみのひとつです。くつき
り晴れた朝、青空を背に葉を落
とした木々が雪をまとった姿は
本当に綺麗。こんなすばらしい

1月 2月 3月

奥会津イベント情報

柳津町

第28回会津やないづ冬まつり

県内で最初に行われる冬まつりで、会場には雪像や模擬店が並び
ます。抽選で豪華賞品が当たる「節分豆まき」や柳津名物「あまわん
じゅう」の大喧嘩大会など、誰でも楽しめるイベントが盛りだくさん。

- ◆日時 平成20年2月2日(土)、3日(日)
- ◆場所 道の駅「会津柳津」
- ◆問合せ 会津やないづ冬まつり実行委員会事務局
(役場観光商工班内) ☎0241(42)2114



南会津町南郷

第28回読売杯南郷スラローム大会

- ◆日時 平成20年2月3日(日)午前8:00~午後3:30
選手受付 午前7:00~8:00まで(センターハウス前)
- ◆場所 会津高原南郷スキー場 さゆりゲレンデ
- ◆問合せ 会津高原南郷スキー場 読売杯大会事務局 ☎0241(73)2111
- ◆参加料 ジュニア部門 1,000円/一般部門 2,000円 先着250名
- ◆申込締切 平成20年1月21日(月) ※当日消印有効(参加料を添えて申込書を提出して下さい)

只見町

第36回只見ふるさとの雪まつり

2月8日(金)19時~大雪像「紫禁城」のカウントダウンラ
イトアップ。雪上ゲーム、丸太の早切り大会などのイベ
ントの他、夜には年男による「厄払いの儀」や「おめでた祈願
花火」が打ち上げられ、白銀の世界を彩ります。

- ◆日時 平成20年2月9日(土)、10日(日)
- ◆場所 J R只見駅前広場
- ◆問合せ 只見ふるさとの雪まつり実行委員会
☎0241(82)5240



三島町

第36回雪と火のまつり

冬の夜空に立つ勇壮なサイの神の火柱と、冬の夜空に舞
う綺麗な花火の共演を見てください。

- ◆日時 平成20年2月10日(日) 13:30~14:30
- ◆場所 歳時記の郷・奥会津第11回フォトコンテスト表彰式(雪まつりステージにて)
審査員である写真家・福田健太郎氏のミニ講演会、特別審査員には香田晋氏を迎えて表彰式を行います。
- ◆日時 平成20年2月9日(土)午後1:00~午後8:00
- ◆場所 三島町民運動場
- ◆問合せ 三島町観光協会(三島町役場産業建設課内)
☎0241-48-5533



金山町

第31回会津かねやま雪まつり

雪像コンクール、芸能大会、雪上ゲーム大会、老人作品展、売
店味じまん(金山の郷土食)など盛りだくさん。お楽しみ
のあとは、奥会津最多の8つの温泉で温まってはいかがですか。

- ◆日時 平成20年2月17日(日)
午前9時より午後3時30分まで(売店11時より)
- ◆場所 金山町中川 町民体育館周辺(会津中川駅近く)
- ◆問合せ 金山町観光協会 ☎0241(54)2311 金山町地域振興課 ☎0241(54)5327
- ◆メール kanesho@ht-net21.ne.jp



金山町

ほっとする出会い

この冬、金山町で交流イベントを開催します。さむい
冬にあったかい出会いを見つけてみませんか。詳しく
はお問合せください。

- 平成20年2月9日(土)~10日(日)
- 平成20年3月1日(土)~2日(日)
- 参加資格:20代~40代の独身女性
- 問合せ 金山町役場地域振興課商工観光係
☎0241(54)5327 0241(54)5335
kanko@town.kaneyama.fukushima.jp

檜枝岐村

スノーシューコースオープン
(中土合公園~七入)

平成20年2月上旬~3月下旬までの土日

- 問合せ 尾瀬檜枝岐温泉観光協会
☎0241(75)2432



昭和村

からむし織の里雪まつり

からむし織の実演や販売・冬の昭和村の風物詩「雪さらし」の実演、
また雪上ゲーム・もちつき大会やふるさと芸能まつりが開催さ
れる。ふるさとのお味覚や民芸販売も行われる。

- ◆日時 平成20年2月24日(日)
午前10時からオープニング
- ◆場所 からむし織の里
- ◆問合せ からむし織の里雪まつり実行委員会
☎0241(57)3100



檜枝岐村

スノーシューツアー

- ◆日時 平成20年3月1日(土)または2日(日)
- ◆問合せ 尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241(75)2432

南会津町館岩

第6回福島民報杯会津高原たかつえB級 G・Sポイント大会

- 種目 大回転 種別 男女別 11部門
- 表彰 1位~6位 その他全員に参加賞
- ◆日時 平成20年3月9日(日) 午前9時30分から競技開始
- ◆場所 会津高原たかつえスキー場 ロマンスコース
- ◆参加料 2,000円 申込先着400名まで ◆申込締切 2月25日(月)まで
- ◆問合せ 福島民報杯スキー大会受付係 ☎0241(78)2546(館岩観光協会内)

檜枝岐村

ウィンターエクストリームシリーズ尾瀬檜枝岐大会

- ◆日時 平成20年3月16日(日)
- ◆問合せ 尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241(75)2432

南会津町館岩

第4回会津高原クロスカントリースキー大会

- 種目 競技の部(9部門) 男女別 3km,5km,10kmコース
歩くスキーの部(1部門) 男女、年齢制限なし 5kmコース
- 表彰 上位入賞者 完走者全員に参加賞
- ◆日時 平成20年3月23日(日) 午前9時開会式 午前9時50分から競技開始
- ◆場所 会津高原たかつえスキー場エリア内特設コース
- ◆参加料 競技の部 一般3,000円/高校生まで1,500円
歩くスキーの部 一般1,500円/中学生まで1,000円
- ◆申込締切 2月22日(金)
- ◆問合せ 会津高原クロスカントリースキー大会事務局 ☎0241(78)7661
- ◆メール info@sapoten.com

檜枝岐村

ミニ尾瀬フィッシングパーク開放

- ◆日時 平成20年3月20日(木)~23日(日)
- ◆問合せ 尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241(75)2432

からむし織体験生・研修生作品展

織姫とは、からむし織と山村の暮らしに関心を持つ方に、から
むし織の一連の工程と山村生活を体験していただき、その体験を
通じて村人との交流を深め、山村の生活文化を再認識していただ
く制度です。この織姫体験生が一年がかりで作り上げた作品を展
示します。(同時に研修生(2年目以降の織姫)の作品も展示され
ます。)展示場所はからむし織の里「織姫交流館」です。まだまだ未
熟ながら、精進込めて織り上げた作品を是非ご覧下さい。

会期：平成20年3月15日(土)~23日(日)
●午前9時から午後5時まで ※3月17・18日は休館日
●入場無料 昭昭和村役場総務課企画係 ☎0241(57)2116



昭和村 からむし織の里
織姫交流館

奥会津だより無料定期購読のご案内

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。
問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局
電話：0241-82-5220 FAX：0241-82-2117 E-mail：webmaster@okuaizu.net



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村・只見町) 発行日：1月15日発行(年5回発行)
事務局：〒968-0421 福島県南会津郡只見町役場 総務企画課企画係内 TEL.0241-82-5220 http://www.okuaizu.net webmaster@okuaizu.net
編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580 ★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の「町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。